

daily コラム

2025 年 11 月 13 日 (木)

〒308-0842 茨城県筑西市一本松 624-3

税理士法人和敬会筑西事務所 TEL 0296-22-3689 FAX 0296-25-0627

Email tfc@wakei-kai.com

令和 7 年 年末調整の変更点

今年の改正内容は年末一気に清算

年末調整は、給与所得者の毎月概算で徴収した源泉所得税とその年の正確な所得税との差額を計算して過不足を清算する手続きです。

今年は改正により基礎控除額が増加した方については、毎月の源泉徴収する所得税は去年と同様で、年末調整時に差額を調整するため、年末調整時に還付する源泉税が大きい額になるケースが多そうです。

定額減税から特定親族特別控除へ

名前の長さが毎年際立っている基礎控除等を申告する用紙の名前が「給与所得者の基礎控除申告書兼給与所得者の配偶者控除等申告書兼年末調整に係る定額減税のための申告書兼所得金額調整控除申告書」から「給与所得者の基礎控除申告書兼給与所得者の配偶者控除等申告書兼給与所得者の特定親族特別控除申告書兼所得金額調整控除申告書」に変更されています。文字数を数えたところ去年より 1 文字減少しています。

今年新設された特定親族特別控除は、生計を一にする 19 歳以上 23 歳未満の親族(配偶者・専従者を除く)で、合計所得金額が 58 万円超 123 万円以下(給与収入換算で 123

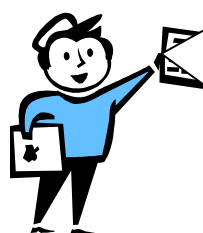
万円超 188 万円以下)の方がいる場合受けられる控除です。この控除が新設されたことにより令和 8 年分給与所得者の扶養控除等(異動)申告書にも変更が加えられ、「特定親族」のチェック欄が新設されています。

控除額判定が変わっているのに注意

年末調整に関する内容としては、先に挙げた特定親族特別控除以外にも、基礎控除の引上げと段階の増加、給与所得控除の最低保証額の引上げ、給与所得控除変更による配偶者(特別)控除の額の判定変動など、控除額の判定が改正されています。

年末調整ソフト等で対応する会社であれば、あまり心配ないかもしれませんが、念のためこの機会に国税庁の「年末調整がよくわかるページ」を確認するのが良いかもしれません。

また、基礎控除額の改定に伴い、令和 8 年分以後の「源泉徴収税額表」が改正されていますから、来年 1 月からの源泉徴収額に変動のある方が多くなります。今のうちにチェックしておきましょう。



所得によって「特定扶養控除」か「特定親族特別控除」か「控除なし」になるかが分かります。配偶者控除みたいなものです。